

1. ベルギーの政治動向

(1) 連邦政府、EU 域外向けの不要不急な渡航は引き続き禁止と発表

連邦政府首相府は、EU 域外に向けての不要不急な渡航は引き続き禁止すると発表した。同声明は、EU 理事会が 6 月 30 日に、一部の域外国から EU 加盟国および欧州自由貿易連合 (EFTA) 諸国への入域制限を 7 月 1 日から解除する勧告を発表したことに対するベルギー連邦政府の対応だった。連邦政府は、以下の 2 つの措置の導入も合わせて発表した。

(1) 以下の 4 つのカテゴリーに分類された渡航者を受け入れる。①船員、②国際会議への参加者、③学生、④リモートワークの実施が不可能な高度な職業技術を持つ者。

(2) EU 域内に正式な居住許可を持つ EU 域外市民とその家族は、居住許可を持つ国以外でも、ベルギーを含む EU 加盟国への渡航が認められる。(2020 年 7 月 2 日)

(2) 内閣組閣に向けた「アリゾナ連立」政権交渉が開始

2019 年 5 月の総選挙以降、連立協議が難航している中、新政権の樹立に向けて、フランス語系穏健リベラル派の改革運動 (MR) と、同じく穏健リベラル派のフランダース民主党 (Open VLD)、フラマン語系の中道民主フランダース (CD&V) の党首が発起人となり、ベルギーの独立記念日である 7 月 21 日までの組閣を目指し、会合を重ねていると仏語経済紙 L'echo が報じた。上記 3 政党の他にも、新フランダース連合 (N-VA)、もう 1 つの社会党 (sp. a)、中道民主人道主義 (cdH) が参画する見込みで、合意に達した場合は、総議席数 150 の過半数をわずかに上回る 76 議席を占める政権となる見込みだ。参画政党の政党カラーを合わせると、米国のアリゾナ州の旗の色となることから、「アリゾナ連立」と呼ばれている。(2020 年 7 月 6 日)

(3) 連邦政府、国境を越える渡航に関する規制・勧告を発表

連邦政府首相府は、国境を越える渡航に関して、外務省のサイト上で、対象国・地域を赤、橙及び青のゾーンに分けて随時、規制や勧告を更新していくと発表した。赤ゾーンは、外出再規制が行われているなど高リスク国・地域で、渡航禁止とする。同地域からの帰国者はウイルス検査が義務付けられ、感染者との濃厚接触者として扱われる。橙ゾーンはリスクが上がった国・地域として、渡航自粛を勧告する。同地域からの帰国者に対しては、ウイルス検査、帰国後の自主隔離を推奨する。青ゾーンは、リスクが皆無または少ない国・地域として、渡航に関する規制はない。(2020 年 7 月 8 日)

(4) 連邦政府、マスクの着用義務拡大を発表

連邦政府首相府は、マスクの着用義務を拡大する声明を発表した。これまでは、公共交通機関など、限られた場所でのみマスクの着用が義務付けられていたが、7月11日以降、店舗及びショッピングセンターや、映画館、劇場、会議場、宗教関連施設、博物館、図書館などでもマスクの着用が義務となる。マスク着用義務を順守しない市民は、刑罰を科される可能性もあり、さらに今後は、繰り返し違反する施設の閉鎖の可能性も規定する見込み。12歳未満の児童に対しては義務にはならない点も確認した。(2020年7月9日)

(5) 国王陛下、新型コロナウイルスの影響下での結束を呼び掛ける

フィリップ国王陛下は、独立記念日の毎年恒例のスピーチで、新型コロナウイルスを「未だかつて経験したことのない危機」と表現する共に、コロナ禍の影響を直接、もしくは間接に受けた人々向けのお見舞いの言葉を伝えた。さらに、医療従事者などの、新型コロナウイルスの感染拡大防止に携わっている人々に向けて、労いの言葉を述べた。今後は、通常活動の再建・再開が課題になるとして、そのために、国民が持つ全エネルギーと知恵を集約する必要があると訴えた。また、前年5月から続いている連立政権の組閣協議に対しても、コロナ禍において、国は決定力があり安定した政権を求めているとして、国民を落胆させないよう、早期の政権樹立を呼び掛けた。(2020年7月20日)

(6) 国王陛下、2大政党党首と引見し、早期組閣を促す

フィリップ国王陛下は、前年5月の総選挙で第1党となった新フランダーズ連合(N-VA)と、第2党で、ワロン地域の主要政党である社会党(PS)の党首と引見し、連邦政府の早期組閣のために必要な全ての準備を行うよう求めたとフラマン語系報道機関NWSが報じた。同2党の党首バルト・ド・ウェーベル党首(N-VA)とポール・マニェット党首(PS)は、共に経験豊富な政治家として知られており、国内の政治的なギャップを埋めることが期待される。ベルギーでは、N-VAは第1党であるものの、地域主義を掲げることから、フランス語系の政党を中心に根強い警戒感がある。(2020年7月20日)

(7) 連邦政府、帰国・入国者に申請書の提出を義務付け

連邦政府移民局は帰国・入国者が当局に届け出るための申請書を発表した。空路での帰国・入国者は同申請書を搭乗前に記入し、入国検査の際に提出する必要がある。提出できない場合は、入国を拒否される可能性がある。また電車や車での帰国・入国者は、入国日に同フォームをメールで当局に送信する必要がある。赤ゾーンに分類されている

国・地域からの帰国・入国者は、同申請書を提出した日から14日間、自主隔離を行うことが義務づけられている。電子申請を利用する場合は、ベルギーに到着する48時間前に記入する必要がある。携帯電話を所持していない場合は、ベルギーに入国する際に申請書を所持している必要がある。一方、入国してから48時間以内に国外に出国する者は申請対象外となる。(2020年7月20日)

(8) 連邦政府、外出規制緩和プロセスの第5段階への移行を見送る

連邦政府首相府は、8月1日に予定されていた外出規制緩和プロセスの第5段階への移行を当面実施しないことを発表した。一方で、レセプション(50人まで)や観客を伴うイベント(屋内200人、屋外400人を上限とする)は、引き続き許可される。また、7月25日から、現行のマスク着用義務(公共交通機関や店舗及びショッピングセンターなど)を、マルシェ、商店街など、人が多く行き交う公共・私用のすべての場所、レストラン・ホテル・バー等(Horeca)(テーブルに着席している場合除く)まで拡大する。さらに、ナイトショップの営業は22時までとし、Horecaが、感染クラスターが発生した場合、顧客に迅速に通知できるように、顧客は連絡手段を店に残すことが義務となる。当該情報は14日後に消去され、感染症の管理という目的以外では使用できない。連邦政府は今後、感染クラスターが市内で発生した場合などに対応するために、市レベルでの管理強化を可能とする権限を強化することも確認した。(2020年7月23日)

(9) 連邦政府、感染拡大防止に向けた強化措置を発表

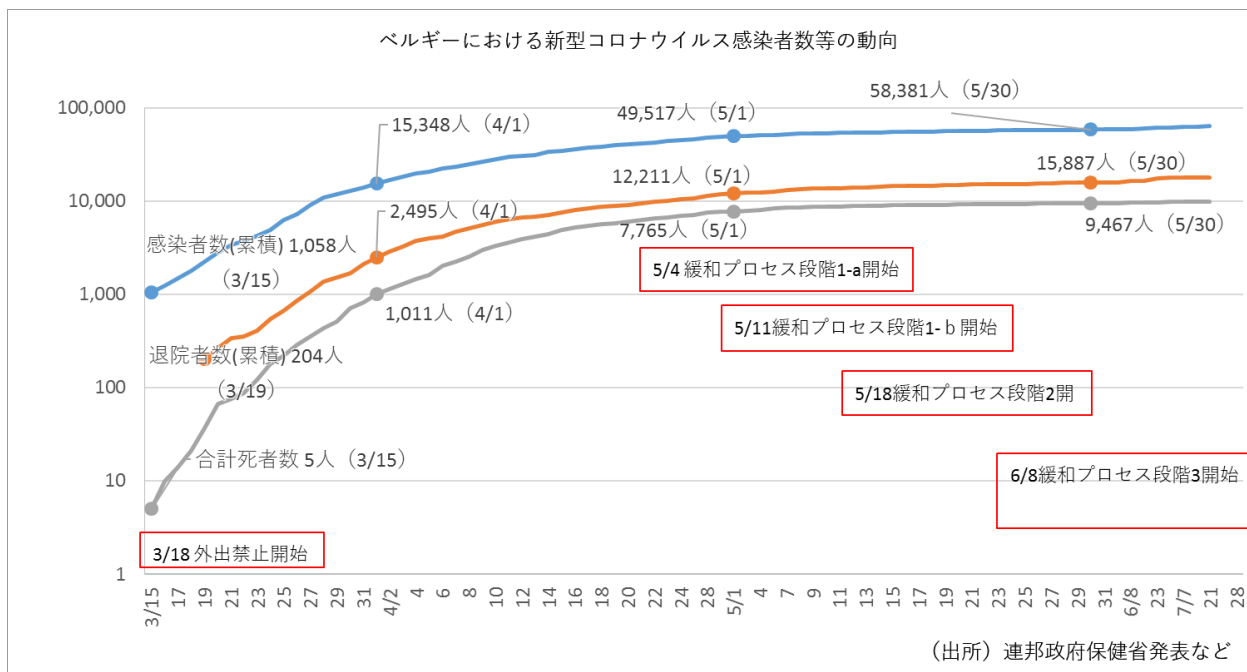
連邦政府首相府は、7月29日から少なくとも4週間(8月末まで)、連邦レベルで実施する強化措置を発表した。生活面では「接触グループ」の人数制限を1人あたり週15名から、家庭全体で同一の5名(12歳未満の子供は除く)とする。一方で、家族や友人などとの集会は最大10名までとする。集会・イベントについては規定を守り、屋内は100名まで、屋外は200名までのものが許されるが、市長が感染状況を踏まえて実施の許可を判断し、またマスク着用が義務付けられる。店舗における買い物は1人(同居する未成年者または支援が必要な者の同伴可)で30分以内とする。またテレワークが強く推奨される。レストラン・カフェ等と同様に、保養所やスポーツの授業の利用者のリスト作成が義務となる。また、8月に支給することが予定されていた12回分の電車無料パスは、9月に延期する。(2020年7月27日)

(10) アントワープ州で夜間外出禁止令が発動

アントワープ州知事は、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、夜間の外出禁止令を発表した。即時発効となり、アントワープ州では、23:30 から 6:00 までの間は外出禁止となる。仕事や通院などの必要な移動は許可される。カフェ、レストランは23時に閉店する。全てのイベントやパーティは禁止され、宴会場やジムなども閉鎖。不可能な場合を除き、テレワークは義務となった。(2020年7月28日)

(11) 新型コロナウイルス、再びベルギーで感染拡大傾向を示す

3月からベルギーで爆発的に感染が拡大した新型コロナウイルスの国内の感染者数は、7月1日時点で6万1,509名、31日時点では6万8,006名となった。7月31日時点での新型コロナウイルス感染による死者数は合計9,840名となった(次図参照)。1日あたりの新規感染者数を7日間の平均値としてみると、7月の頭(6/27-7/3)は85.1人だったのに対し、最終週(7/21-27日)は370.6人まで増加し、感染の拡大傾向を示した。(2020年7月31日)



2. ベルギーの経済動向

(1) ブリュッセル首都圏地域、若年層を中心に失業者が増加

ブリュッセル首都圏地域の就労支援機関アクティリス (Actiris) は、6月の求人件数は2,287件となり、前年同月比で17.1%減(472件減)、前月から143件減となったと発表した。また、同地域における6月末の失業率は15.2%、求職者数は8万5,401人(前年同月比0.2%減)となった。25歳未満の若年層の失業率は22.2%、失業者数は8,133人となり、前年同月比13.5%増となった。(2020年7月2日)

(2) フランダース地域、6月の休職中の失業者数は前月からわずかに減少

フランダース地域の就労支援機関VDABは、6月の求職中の失業者数が19万5,680人(一時帰休の対象者は含まず)となり、前年同月比11.8%増(2万612人増)したと発表した。一方で、失業者数は前月から2,603人減少した。同地域内の全ての州で失業率の悪化が見られたが、ウェスト・ブランデレン州で前年同月比15.9%増と悪化が著しく、リンブルフ州(12.8%増)が続いた。(2020年7月2日)

(3) 2020年上半期、コンテナの取扱量はアントワープ港、ゼーブルージュ港共に増加

アントワープ港は、2020年上半期(1~6月)のコンテナの総取扱量は、前年同期比0.4%増となったと発表した。取扱量は、第1四半期に増加傾向にあったものの、4月からコロナ危機の影響を受けて、世界の生産および物流チェーンの需要が減少し、船舶のキャンセルが相次いだことに起因する。船舶の寄港数は減少したものの、医薬品、電子商取引、健康食品の需要拡大に伴い、1隻あたりの積荷量が増加し、減少分は相殺された。またゼーブルージュ港は、2020年上半期の貨物取扱量が前年同期比14.5%増となったと発表した。セクター別では、液体バルク(83%増)、コンテナ(14%増)、固体バルク(32%増)がそれぞれ増加した。液化天然ガスの取扱総量が前年同期比148%増に大幅に増加した一方、自動車の取扱量は37%減となった。(2020年7月8日、7月17日)

(4) 2020年上半期の新車登録台数は、前年同期比でマイナス30.2%

ベルギー自動車工業会(FEBIAC)は、2020年上半期(1~6月)の新車登録台数は、前年同期比30.2%減の21万6,605台となり、前年の31万188台から大幅に減少したと発表した。FEBIACは、2020年上半期の新車登録台数の大幅な落ち込みは、新型コロナウイルスの感染拡大防止策に起因し、流行が収束していない以上、2020年下半期での巻き返しは限定的となるとの見方を示した。(2020年7月14日)

(5) ベルギー連邦計画局、2020年の国内3地域の経済予測を発表

ベルギー連邦計画局（BFP）は、国内3地域の中長期の経済予測を発表し、ベルギー経済は2020年に景気後退が底打ちした後に、回復が期待できるとの見通しを示した。発表によれば、2020年のベルギーの実質 GDP 成長率は、新型コロナウイルスの影響を受けて、第二次世界大戦以降、最大の落ち込みとなるマイナス 10.5%となる見通しだ。地域別では、ベルギー北部フランダース地域の2020年の実質 GDP 成長率はマイナス 11.1%、南部ワロン地域はマイナス 10.3%、ブリュッセル首都圏地域はマイナス 9.3%となる見通し。（2020年7月17日）

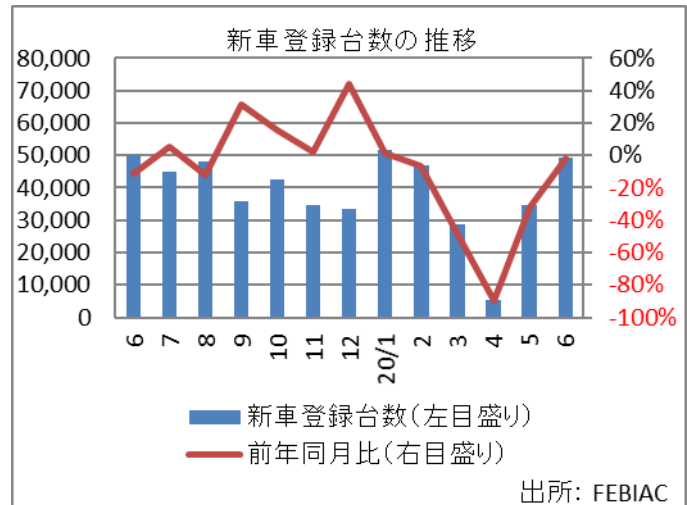
(6) ベルギー国立銀行、2020年第2四半期のGDP成長率は前期比12.2%減と発表

ベルギー国立銀行（NBB）は、新型コロナウイルスの影響を受けた2020年第2四半期のGDP成長率（速報値）を前期比12.2%減、前年同期比14.5%減とマイナス成長となったと発表した。産業別では製造業13.0%減、建設業13.3%減、サービス業11.8%減（付加価値ベース）となった。（2020年7月30日）

<月例経済指標>

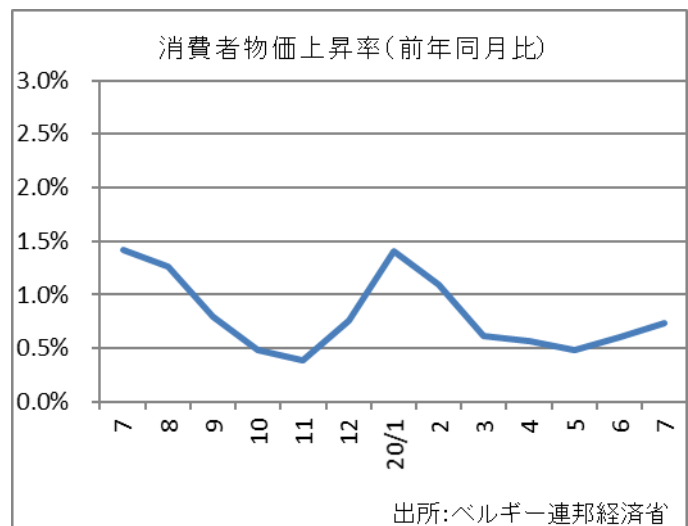
6月の新車登録台数：前年同月比1.8%減

ベルギー自動車工業会（FEBIAC）は、6月の乗用車の新車登録台数は4万9,141台（前年同月比1.8%減）だったと発表した。ブランド別では、フォルクスワーゲンのシェアが12.1%と最も大きく、ルノー（シェア8.8%）とプジョー（同7.1%）が続いた。（2020年7月1日）



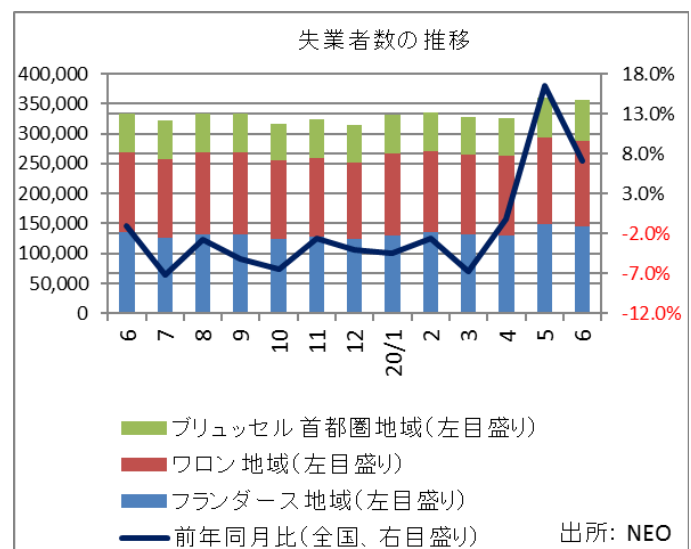
7月のインフレ率：前年同月比0.73%上昇

連邦経済省の発表によると、7月の消費者物価指数は前年同月比で0.73%上昇した。燃料、航空券、魚介、ホテル宿泊料、レストラン、カフェが値上がり要因となった。一方、薬品、天然ガス、海外旅行、野菜、不動産賃貸料が押し下げ要因となった。（2020年7月30日）



6月の失業手当受給者数：前年同月比7.1%増

国立雇用局（NEO）は、6月の失業手当受給者数が35万6,542人（前年同月比7.1%増）だったと発表した。地域別にみると、フランダース地域が14万4,772人（同7.0%増）、ワロン地域が14万3,450人（同8.1%増）、ブリュッセル首都圏地域が6万8,320人（同5.3%増）だった。（2020年7月30日）



3. ベルギーの産業動向

(1) ガラス製造大手 AGC ガラス・ヨーロッパ、雇用削減計画を発表

ガラス製造大手 AGC ガラス・ヨーロッパは、雇用削減計画を発表した。2019 年下半期から続くガラス市場の需要の落ち込みと過剰生産による価格の下落により経営状況が悪化していたところに、コロナ危機で経営悪化が加速したとしている。また今後の経営見通しとして、供給先である建設および自動車産業の不確実性による影響は大きく、自動車生産量は 2024 年まで 2019 年の水準に戻ることはないとみている。(2020 年 7 月 2 日)

(2) 機能性食品原料メーカー・ベネオ、国内のライススターチ製造工場への投資を発表

ドイツ製糖大手ジュートツッカー傘下の機能性食品原料メーカー、ベネオは、ベルギー国内のライススターチ製造工場の拡大のため、5,000 万ユーロを投資すると発表した。欧州と米国で、自然食品の需要が拡大し、菓子の製造に使用されるライススターチへの需要が伸びたという。2022 年 3 月までに生産能力を約 50%引き上げ、20 人の新規雇用を目指す。同社の工場はブリュッセル北東部のウェイクマールにある。(2020 年 7 月 9 日)

(3) オランダ銀行大手 ING、業務の一部をアムステルダムに移行

オランダの銀行大手 ING 銀行は、ロンドンが管轄している金融市場取引業務の一部をアムステルダムに移管すると発表した。同行は 1 月、ブレグジットに伴い、該当業務機能をブリュッセルに移管する計画を発表していた。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、人員削減や運用リスクの軽減が必要となったとし、より効率的にリソースを活用できる既存基盤を持つアムステルダムへの移管が最善と判断したという。(2020 年 7 月 23 日)

(4) フランス物流大手 DPD、新たな物流拠点 3 カ所の開設を発表

フランス物流大手 DPD は、e コマースの大幅な需要拡大に対応するため、6,000 万ユーロを投じて、ベルギー内の 3 カ所(ルメン、セント・ニコラス、アッセ・ゼリック)に新しい物流拠点を開設すると発表した。他の EU 諸国同様、ベルギー、ルクセンブルクでも、新型コロナウイルス感染抑止を目的とした外出禁止措置が実施されていた間、e コマースに対する B2B と B2C の需要は大幅に増加した。特に B2C は、コロナ危機で需要が前年同期比で 70%増加し、食品、玩具、スポーツ製品、健康関連製品を配達する需要が高まったとしている。同社は 2020 年末までに 500 人の新規雇用を創出する見込みだ。同社は本投資計画を 3 年後に予定していたものの、コロナ危機の影響により需要が加速し

たため、計画を早めたとしている。(2020年7月23日)

(5) 4億6,000万ユーロのブラッセルス・エアライン救済策を発表

ドイツ航空大手ルフトハンザ傘下のブラッセルス・エアラインは、新型コロナウイルスの影響で経営が悪化した同社の救済策についてベルギー連邦政府とルフトハンザが合意したと発表した。発表によれば、ブラッセルス・エアラインは、ルフトハンザからの1億7,000万ユーロの資本と、ベルギー連邦政府から2億9千万ユーロの融資を受け、救済策の規模は総額4億6,000万ユーロとなる。ベルギー連邦政府の同社への融資条件として、ルフトハンザは、ブラッセルス・エアラインを維持し、本社拠点をブリュッセルに保持することなどが盛り込まれている。(2020年7月24日)

(6) カルフルとウーバーイーツが配達サービスを開始

スーパーマーケットチェーンのカルフルがウーバーイーツ(Uber Eats)と組み、ベルギー国内で商品配達サービスを開始すると発表した。パリでは外出規制中の4月より同サービスを開始しており、注文から30分以内で配達されるという。ベルギーでは9月からサービスが開始される。(2020年7月27日)

4. EUの動向(～「ジェトロビジネス短信」より～)

(1) EU理事会、域外15カ国からの入域制限を解除する勧告を採択(2020年7月1日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2020/07/70b00dbc9a00790e.html>

(2) ドイツ、EU議長国に就任、欧州の復興に向けた結束に主眼(2020年7月2日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2020/07/399fe769dfd69337.html>

(3) EU議長国ドイツ、水素技術など気候変動対策の推進を強調(2020年7月3日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2020/07/dd24de768f2acb6b.html>

(4) 欧州委員長、復興パッケージの合意に自信を示す(2020年7月6日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2020/07/ffd7ec75a4e02085.html>

(5) 欧州委、戦略投資基金の目標投資額の呼び込みを達成(2020年7月6日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2020/07/9d92a03b048a0574.html>

(6) EU・英国、将来関係交渉にかかる集中協議 1 週目は進展みられず(2020 年 7 月 7 日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2020/07/ed95c773f9ef91ca.html>

(7) EU・ユーロ圏の 5 月の失業率、ともに前月比 0.1 ポイント悪化(2020 年 7 月 8 日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2020/07/fbf52e15de938b2.html>

(8) 欧州委、2020 年の EU の成長率見通しをマイナス 8.3%に下方修正(2020 年 7 月 8 日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2020/07/72dbba48429a67b5.html>

(9) 欧州委、気候変動対策等新技術への資金提供に向け公募開始(2020 年 7 月 9 日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2020/07/313ae523ab1e7aad.html>

(10) 欧州委、水素技術の実用化と普及に向け戦略を発表(2020 年 7 月 10 日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2020/07/a648d349ecec0a1e.html>

(11) EU 理事会と欧州議会、消費者保護を強化する集団訴訟法案を正式採択へ(2020 年 7 月 10 日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2020/07/573d2c7bb9979d4d.html>

(12) 欧州委、エネルギー効率性向上のための総合戦略を発表(2020 年 7 月 10 日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2020/07/52b44d26726f2790.html>

(13) オンライン仲介サービスなどに対する初の EU 規制、適用開始へ(2020 年 7 月 13 日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2020/07/bb4d2cacd649f6ad.html>

(14) ミシェル常任議長、EU 首脳会議に先立ち復興パッケージの修正案提示(2020 年 7 月 13 日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2020/07/a0f8a8b00edab9e2.html>

(15) 欧州委、ブレグジット移行期間終了に備えた準備指針を公表(2020 年 7 月 13 日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2020/07/1df2fa498013512b.html>

(16) EU の第 1 四半期の未活用労働指標、前期比 0.3 ポイント悪化(2020 年 7 月 14 日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2020/07/9b9961ebb0638df0.html>

(17) エネルギー憲章条約の現代化に向けた交渉開始(2020 年 7 月 15 日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2020/07/fd25129af4355168.html>

(18) 道路運輸業に対する EU 規制、大幅改正へ(2020 年 7 月 15 日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2020/07/59649d78ba134923.html>

(19) 欧州委、アップル判決受け公平な税制追求を強調(2020 年 7 月 16 日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2020/07/cc3d73bef8a86703.html>

(20) 欧州中銀、金融緩和政策を維持(2020 年 7 月 17 日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2020/07/de7f58b8a5a7d64c.html>

(21) ユーロ圏の企業の融資需要は増加傾向(2020 年 7 月 17 日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2020/07/db2f1fa63bc343ef.html>

(22) EU 司法裁、米国との個人データ移転に関する「プライバシー・シールド」を無効と判断(2020 年 7 月 17 日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2020/07/d4dfd684421ffb4b.html>

(23) EU 理事会、モンテネグロ、セルビアを入域制限解除国リストの対象外に(2020 年 7 月 17 日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2020/07/aea119b30d5e6d8c.html>

(24) EU の上半期の新車登録台数、前年同期比 38.1%減(2020 年 7 月 17 日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2020/07/6c32dea24cc47379.html>

(25) EU 首脳、復興パッケージに合意(2020 年 7 月 21 日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2020/07/92a90d712797642b.html>

(26) EU・英の将来関係協議第 5 ラウンド、一部論点で進展するも状況は厳しく(2020 年 7 月 27 日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2020/07/c9aaf72074a4e57b.html>

(27) 欧州議会、EU 中期予算案の改善を要求(2020 年 7 月 28 日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2020/07/ecf7db3ad97624fb.html>

(28) 欧州委、加盟国によるエアバス補助金問題の是正を強調(2020 年 7 月 30 日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2020/07/b8b3f588edefe857.html>

(29) サイバー攻撃に対する初の制裁措置を発動(2020 年 7 月 31 日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2020/07/a911e269ccb27f47.html>

(30) EU 理事会、入域制限解除国リストから新たにアルジェリア除外(2020 年 7 月 31 日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2020/07/1e0c236dbbb54fd1.html>

(31) EU・ベトナム FTA、8 月 1 日に発効(2020 年 7 月 31 日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2020/07/5723c9b8fe63a5e8.html>

(32) 世界の政治・経済日程(2020 年 8~10 月)(欧州)(2020 年 7 月 31 日付)

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2020/07/b27d403641bd1f76.html>

※EU および加盟各国政府の対応など、欧州における新型コロナウイルス感染症関連の最新状況

<https://www.jetro.go.jp/world/covid-19/europe/>

<調査レポートのご案内>

■ 日 EU 経済連携協定 (EPA)

<https://www.jetro.go.jp/world/europe/eu/epa/>

■ 地域分析レポート「深化を続ける日 EU・EPA」

① 制度面: 専門委員会などで分野別の対話進む

<https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/2020/23bd5a04b28be668.html>

② 運用面: キーワードから見る原産地手続き

<https://www.jetro.go.jp/biz/areareports/2020/94a09b00c58cd6fe.html>

■ 欧州グリーン・ディールの概要と循環型プラスチック戦略にかかわる

EU および加盟国のルール形成と企業の取り組み動向

<https://www.jetro.go.jp/world/reports/2020/01/a4731e6fb00a9859.html>

■ EU における新しい公的管理・植物衛生・動物衛生制度

<https://www.jetro.go.jp/world/reports/2020/02/fc27c518811dca0e.html>

『ベルギー日本人会商工委員会ビジネスセミナー案内送付のお知らせ』

日本人会商工委員会と日本貿易振興機構（ジェトロ）ブリュッセル事務所は、労務・法務、会計、政策動向、経済情勢など皆様のビジネスに関連するテーマを題材にしたビジネスセミナーを年に4回開催しています。日本人会会員企業の方は無料で本セミナーにご参加いただけます。案内状の送付を希望される方は、belinfo@jetro.go.jp までメールアドレスをご連絡ください。